

知ってください 認知症のこと



第3回 認知症の人の心理・受診をためらう理由

揺れ動く感情

聞いてないのにさっきも言ったといわれる
無性に腹立たしい

慢性的な不快感

思い出せそうで思い出せない
思ったことが口に出ない

被害妄想

確かにあったはずの物がない
あの人が疑わしい

焦燥感

いくら探してもみつからない
思い通りに事が運ばない

混乱

言われていることがわからない
何をすればよいのかわからない

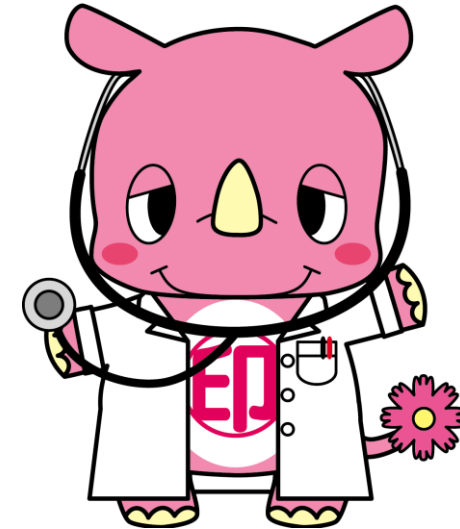
自発性の低下とうつ状態

何をやっても怒られる
何故怒られるかがわからない



認知症を疑ったときに受診をためらう理由

1. 認知症ではない可能性があると思うから
2. 本人のプライドを傷つけると思うから
3. 認知症は病気ではないと思うから
4. 問題が起きないと何もしてもらえないと思うから
5. どこの病院にいけばよいか分からないから
6. 認知症は治らないと思っているから
7. 認知症と診断されるのが怖いから



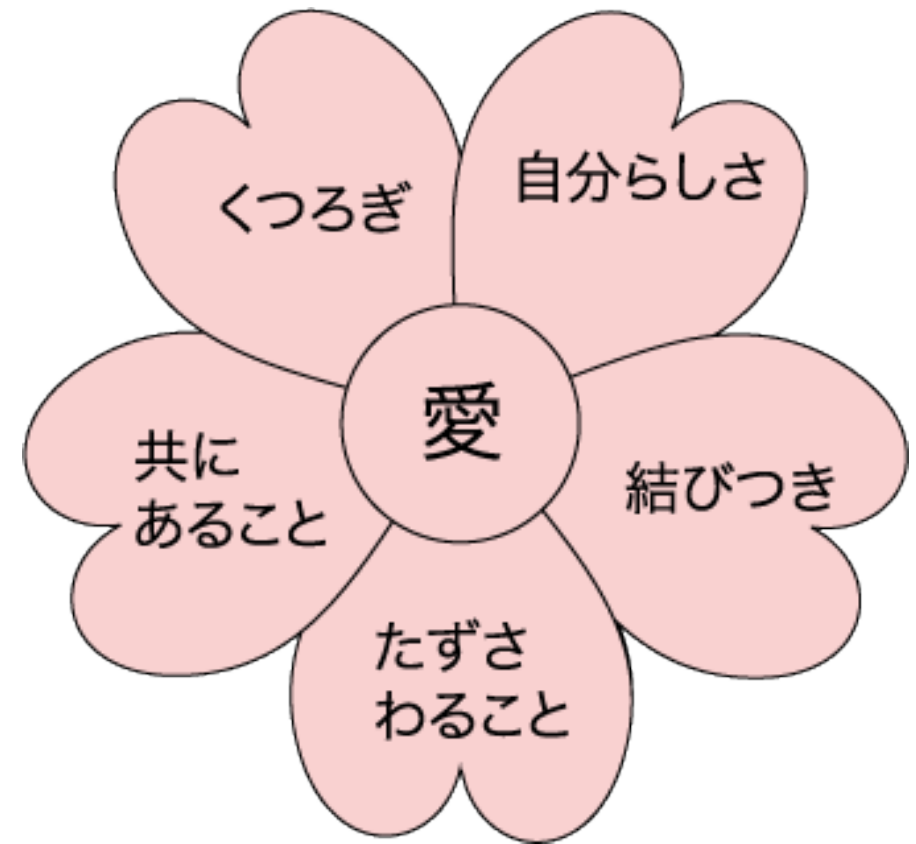
認知症の人が望んでいるケア

パーソン・センタードケア

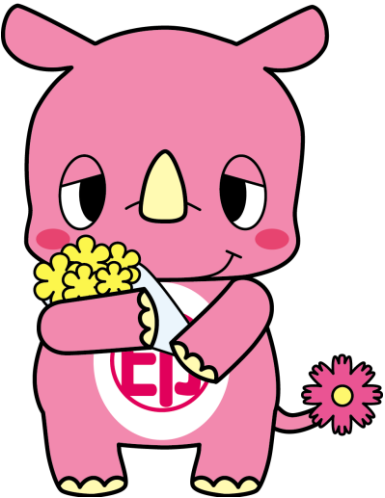
イギリスの老年心理学者 トム・キッドウッドが最初に提唱し、認知症の理念として世界中に普及している。

互いに重なり合い、関連しあっている。

愛・・・あるがままに受け入れ、
心から思いやり、慈しむ



個人の価値を
低める行為 (PD)
高める行為 (PE)



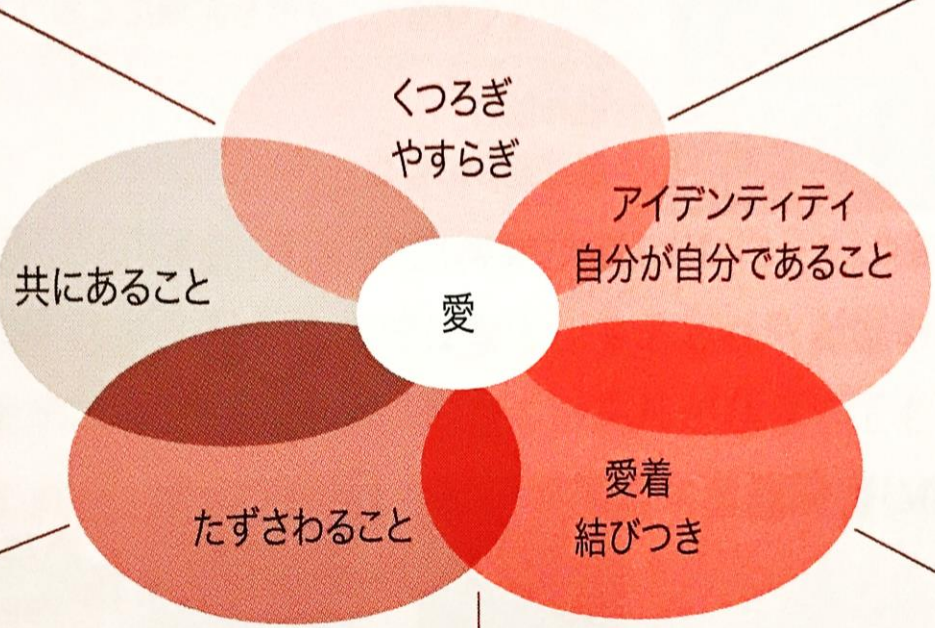
PE1: 思いやり (やさしさ・温かさ)
PE2: 包み込むこと
PE3: リラックスできるペース

PD1: 怖がらせること
PD2: 後回しにすること
PD3: 急がせること

PE14: 個性を認めること
PE15: 共にあること
PE16: 一員として感じられるようにすること

PE17: いっしょに楽しむこと

PD14: 差別すること
PD15: 無視すること
PD16: 除け者にすること
PD17: あざけること



PE4: 尊敬すること
PD4: 子ども扱いすること

PE5: 受け入れること
PD5: 好ましくない区分け (レッテル付け) をすること

PE6: 喜び合うこと
PD6: 侮辱すること

PE10: 能力を発揮できるようにすること
PE11: 必要とされる支援をすること
PE12: かかわりを継続できるようにすること
PE13: 共に行うこと

PE7: 尊重すること
PE8: 誠実であること
PE9: 共感をもってわかるとうとすること

PD10: 能力を使わせないこと
PD11: 強制すること
PD12: 中断させること
PD13: 物扱いすること

PD7: 非難すること
PD8: だましたり、あざむくこと
PD9: わかるうとしないこと

ブラッドフォード大学認知症ケアグループ:
DCM8版マニュアル理念と実践認知症介護研究・
研修大附センター, 2012